



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2020

10

No. 775



顔いっぱい収穫の喜び!「おにぎり食べたいな…」
おおとり保育園 稲の収穫



力強い機械の音! 子どもの安全を願って小学校桜の木の伐採
環境づくり推進協議会



市長さん 吉敷のこと聞いてください〜
やまぐち車座トーク21吉敷

CONTENTS

インフォメーション..... 2,3

【トピックス①】

市長と地域が語り合う
車座トークが開催されました..... 3

【トピックス②】

レノファ山口との協賛による
サロンが開催されました..... 4

【シリーズ歴史⑩】

吉敷毛利ファイブ..... 5

レポート..... 6

【トピックス③】

市ソフトボール協会主催大会で
「吉敷クラブα」が優勝..... 6

【健康レシビ②】

「カラフルピラフ」..... 7

リレーエッセイ..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8

よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】14,616(前月比 -27) 【世帯数】6,291(前月比 -19)

令和2年9月1日現在



イ・ン・フ・ォ・メ・ー・バ・ン

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

河川浄化委員会 講習会

吉敷自治会河川浄化委員会では、吉敷地域に流れる3河川（木崎川・錦川・前田川）の浄化に向けた取り組みを進めています。この活動の一環として、県から講師を招き、自然と人が共生共存するための川づくりをテーマに「人と川の新しいつきあい方を求めて」と題し講習会を開催します。興味・関心のある方のご参加をお待ちしています。

【とき】10月14日(水) 13時30分～14時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】県土木建築部 河川課
【対象】自然や環境に興味・関心のある方 40名(先着順)

【申込締切】10月9日(金)

【申込・問い合わせ】吉敷自治会事務局

☎083-922-1334



吉敷ベタンク交流大会

吉敷地域でひそかに人気上昇中のベタンク。平成28年に吉敷ベタンク同好会が発足し、会員も年々増え、上東第2公園で月2回楽しく活動されています。また、そこから各町内にもベタンクの輪が広がっているようです。

ベタンクは、木製のビュット(目標球)に金属製のボールを投げ合い、相手チームよりビュットに近づけることで点数を競う競技です。ルールがわかりやすく、未経験者でも十分に楽しめます。

今回の交流大会は、3人1組で行います。ベタンクをしながら、交流しましょう!当日はマスクを持参してください。

【とき】10月18日(日) 8時30分集合(雨天中止)

【場所】良城小学校グラウンド

【対象】中学生以上の方60名(先着順)

【申込締切】10月13日(火)

【主催】地区社会福祉協議会・良城クラブ

【申込】地区社会福祉協議会

☎083-922-1334



子育て講座「運動会」

親子で一緒に楽しく体を動かしましょう!

【とき】10月30日(金) 10時～11時(雨天中止)※検温などの健康チェックがありますので、少し早めにご来場ください。

【場所】維新公園弓道場横の芝生広場

【対象】未就学児と保護者 15組(先着順)

【託児】有・競技に参加しない子(要申込)

【準備】飲み物・タオル・マスク

※中止の際は、当日9時までにご連絡します。

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-13915

健康チェック・健康相談会

「血管の老化を防ぐために必要なことは?」と題し、相談会を開催します。

【とき】11月4日(水) 10時～11時(受付)

【場所】地域交流センター 講座室

【対象】健康づくりに関心のある方、健康診断結果について相談したい方など

【申込】不要

【内容】血管年齢測定、体組成測定、健康相談(保健師・管理栄養士)、介護相談(鴻南地域包括支援センター)、動脈硬化についての展示

【持参】各種健康診断結果(お持ちの方)

※体組成測定のご希望のある方は、裸足になれる服装でお越しください。

【注意】マスク着用でお越しください。また、体調の悪い方は参加をご遠慮ください。

【問い合わせ】市保健センター

☎083-921-2666

肺がん(結核)検診

早期のがんは自覚症状がないことが多いので、定期的な検診受診が必要です。40歳以上で、職場等で検診・人間ドック等を受ける機会のない方はぜひ受診しましょう。

【とき】10月22日(木) 9時～15時(12時から13時は除く)

※9時～10時頃は混雑するため、10時以降もしくは午後からの受診がおすすめです。

【場所】地域交流センター 講座室

【持参】がん検診等受診券(7月上旬発送)

【負担金】なし

【予約】不要

喀痰検査

肺がん検診と同時に受診できます。

【対象】肺がん検診受診者のうち、50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方

【負担金】600円(70歳以上の方、「後期高齢者医療被保険者証」を提示された65～69歳の方、70歳未満で市民税非課税世帯の方(要事前申請)は500円)

△ご協力をお願いします。

①37.5℃以上の発熱や咳等の風邪症状がみられるときは、受診を控える。

②検診当日はマスクを着用。

③がん検診等受診券5ページ「肺がん(結核)検診問診票」を記入して持参。

【問い合わせ】市保健センター

☎083-921-2666

第45回吉敷ふるさとまつり 今年は縮小して開催します

【とき】11月8日(日) 10時～14時

【場所】地域交流センター

【内容】屋内での展示・発表

新型コロナウイルス対策のため、屋外の出店・ステージの部は中止します。新たな試みとして、各団体の活動発表を動画にし、上映します。



昨年の様子

※入場時、検温と氏名・連絡先等の聞き取りを行います。

※密を避けるため、一度に入場する人数を制限することがあります。

※マスクを着用しての来場にご協力ください。

※来場前に接触確認アプリ(COCA)をインストールし、活用されるようお願いいたします。

吉敷ふれあい標語2021募集

今年度も、令和3年1月号から12月号まで「ふるさとだよりよしき」の表紙を飾る標語を募集します。

【応募期間】11月末まで受付

【応募方法】地域交流センターに備え付けた応募用紙に記入し、ご応募ください。

【問い合わせ】実行委員会事務局

☎083-922-1334

コミュニティタクシーの 愛称を募集しています

吉敷地域コミュニティタクシー実証運行協議会では、来年度実証運行を行うことにしているコミュニティタクシーの愛称を募集しています。誰でも応募できます。応募用紙を切り取って、ぜひご応募ください。

投函箱は、地域交流センターの入口に設置しています。

【募集期間】令和3年2月末まで受付
【愛称の採用】コミュニティタクシー実証運行協議会の役員会で選考し、「ふるさとだよりよしき」の4月号で公表します。

【問い合わせ】吉敷地域コミュニティタクシー実証運行協議会
☎083-922-1334

切り取り

<コミュニティタクシー愛称応募票>

ふりがな 氏 名	
住 所	山口市
電 話	() -
愛 称	
愛称の理由	

※用紙は、投函箱にも備え付けてあります。



市長と地域が語り合う 車座トークが開催されました

9月3日(木)に吉敷地域交流センターにおいて、市長が地域を訪れ、語り合う「やまぐち車座トーク21吉敷(移動市長室)」が開催されました。

コミュニティタクシーの 導入等に対する支援

地域づくり協議会の田鍋総務・企画委員長より、来年度実証運行を行うことにしているコミュニティタクシーの導入に対する支援や旧出張所・公民館跡地の活用への支援の要望がなされました。

コミュニティタクシーは、旧出張所・公民館跡地を発着点とすることにより、これを契機に、当地に交通の拠点施設や住民の利便施設を整備したいと考えています。

市長より、コミュニティタクシーについては、是非運行して欲しいという回答があり、跡地の活用についても吉敷地域の結節点としてふさわしいものを検討したいという回答がありました。



田鍋総務・企画委員長

放課後児童クラブの支援

地区社会福祉協議会の木村会長より、新型コロナウイルスにより休校が相次ぎ、支援員のみでは対応できなくなり、町内会においてボランティアを募り対応したという報告を行い、こうした事態における運営の基本方針を確立して欲しいという要望がなされました。

これに対し、市長から、これからは一斉に休校ということではなく、個別の対応になるのではないかと考えており、支援員の登録制度を設け、求めに応じ支援員を派遣することを検討しているという回答がありました。

環境保全活動への配慮

吉敷自治会の内田下東町内会長より、吉敷自治会では、環境保全促進助成事業補助金を活用し水質検査や現地調査を行うなど、河川の環境保全活動に取り組んでいるという報告を行い、こうした活動に対する市の配慮の要望がなされました。

これに対し、市長より防災にも寄与する素晴らしい取り組みであるという評価がなされ、市による支援も考えたという回答がありました。

レノファ山口との協賛による サロンが開催されました

8月3日(月)、上東福寿会では、(株)レノファ山口の協賛によるサロン寿「講話会」が開催されました。

明治安田生命を講師として迎え「令和時代のセカンドライフ」と題した講話会に加え、映像に合わせて行う「レノファ健康元気体操」の体験などもあり、三十名の参加者が親睦を深める機会となりました。

開催までのいきさつ

今年一月、(株)レノファ山口とそのパートナー会社の明治安田生命の社員の方が地域交流センターを訪れ、この地域に役立つ施策についての相談がありました。

その想いとして、「レノファ山口は、山口県民が『夢・感動・元気』を共有でき県民に愛されるクラブを目指しており、その為には、ただゲームを観戦して頂くだけではなく、選手・スタッフ一同、自らの足で積極的に地域との連携・共生を実現することを社是としており、それを実践したいのです。」とのことでした。

レノファのホームタウンの地域としてその思いに大いに共感した上東福寿会が手を挙げ、サロンの共催に至ったのです。

レノファ健康元気体操

この体操は、レノファ山口FCのテーマ曲にあわせて、気軽に行える約4分程度の体操で、高齢者の健康増進のみならず、幅広い世代にも活用できる体操ということです。

三十名の参加者は、スクリーンの映像にあわせて懸命に手足を動かしていました。

日頃やっている百歳体操とはやや勝手が異なり、テンポや振り付けに戸惑いながらも、新鮮な体の動きを楽しんだひとときでした。



講話会

「令和時代のセカンドライフ」

体操につづき、講師の明治安田生命山口営業所長さんによる講話会が開催されました。

演題にある、年齢に負けない第二の人生の生き方について、分かり易く解説していただきました。

平均寿命が延び、加齢による体の変化が進む中で起こり得る「認知症」についての話に特に興味をもたれました。また、認知症の予防・早期発見や、公的保険制度に至るまでの詳しい説明をしていただきました。

話の途中、クイズや、シルバー川柳などのユーモアを交えて、楽しく有益な講話会となりました。



明治安田生命によるクイズの様子

目指せJ1！レノファ山口

サッカーというスポーツを通して、地域との連携や共生に取り組んでいる(株)レノファ山口と明治安田生命の心意気を大いに実感することができました。今後は吉敷の地域ぐるみで連携を深めていく必要があるのではないかと思います。

また、スタジアムで激闘を繰り広げ戦い続けるプレイヤーに熱い声援を送りつづけたいものです。

最後に池上丈二キャプテンの言葉を紹介します。

「4カ月皆さんの前でサッカーのできない期間が続いた。毎日サッカーができる幸せ。そして山口県のみんなから力をもたらしている幸せを深く感じた期間だった。今、サッカーができる日々が帰ってきた。今度は僕らがみんなに力を与える番だ。僕らのプレーを魂を感じてください。」



山口市のご当地シャレン選手
41. 武岡優斗選手



キャプテン
10. 池上丈二選手

県や市町ごとのPR
や応援といったシャ
レン(社会連携)活
動を行っています!

吉敷毛利ファイブ

「長州ファイブ」は、幕末に命を賭けてイギリスへ密留学し、近代日本発展の礎を築いた井上勝（鉄道の父）、伊藤博文（初代内閣総理大臣）、井上馨（初代外務大臣）、山尾庸三（工業の父）、遠藤謹助（造幣の父）の5人の若者です。この時代、吉敷毛利家により創設された郷校「憲章館」からも多くの人材が活躍しています。その中から5人を取り上げ、吉敷毛利ファイブと呼ばせていただきます。

【内海忠勝 1843～1905】

幕末、宣徳隊を組織し、本藩の正義派と呼応し、禁門の変、内紅戦、四境戦争に参戦。明治4年には、岩倉使節団の大使随員として欧米を視察しました。帰国後、兵庫、長野、神奈川、大阪、京都各県知事、貴族院議員、会計検査院長。第一次桂内閣の内務大臣等を歴任。「内海財団」は今も山口市にある。

【服部一三 1851～1929】

四境戦争で遊撃隊総監。米国留学、法律博士の学位を得て帰国。東京英語学校長。東京大学法学部、文学部長などの後、官吏に転じて、岩手、広島、長崎、兵庫各県知事、貴族院議員等を歴任した。

【服部章蔵 1848～1916】

大村益次郎より兵学を学び、禁門の変、内紅戦、四境戦争に参加。上京して、明治4年、育英義塾監督兼英学教授、海軍兵学校教授。キリスト教信仰、小石川教会牧師となる。光城女学院（現・下関市梅光学院）設立した。

【澤山保羅 1852～1887】

明治5年、神戸で米国宣教師グリーン博士について英語を学び、その紹介で米国イリノイ州ノースウエスタン大学に入り、次いでマサチューセッツ州のイーエン・バカルト氏について神学を専攻、その名も使徒パウロを慕って、馬之

進より保羅と改名。帰国後、大阪に浪華教会設立及び、梅花女学校（現・梅花女子大）を設立した。新島襄、押川方義と共に日本キリスト教会三傑である。



澤山保羅誕生碑

【成瀬仁蔵 1858～1919】

明治7年山口県教員養成所入学。小学校長。明治10年、帰郷した澤山保羅の感化でキリスト教に入信。浪華教会で洗礼、澤山保羅等と梅花女学校設立の後、牧師の道へ進み、明治23年米国へ留学、神学校からクラーク大学へ入学し、女子教育の重要性を学んで帰国、内海忠勝、伊藤博文、山縣有朋等に女

子大学新設の必要性を説き、三井、岩崎、住友、他各財閥の援助を受け、三井家より寄付された目白台の土地に日本女子大学を創設（明治34年）した。



成瀬仁蔵公園

以上の5人以外にも多くの俊才は多士済々。キリスト教信者の輩出は、吉敷毛利 初代秀包（シメオン）、二代元鎮（フランシスコ）がクリスチャンということもあったため、宗教に極めて寛容であったことがその底流にあった。

玄清寺 住職 蔵重恵昭 著

「禪寺つれづれⅡ」

レポート

健康もVRで測る時代?!

8月25日(火)、山口市と健康増進に関する連携協定を結ぶ明治安田生命保険相互会社山口営業所による「血管年齢測定会・VR体験でわかる?!脳年齢診断」が地域交流センターで開催。専用のゴーグルを装着し、VR(仮想現実)映像に合わせて体を動かす脳年齢測定に悪戦苦闘でした!



市長さん、聞いてください!

9月3日(木)、渡辺市長が地域交流センターを訪れ、地域と市長が語り合う「やまぐち車座トーク21吉敷(移動市長室)」が開催されました。

渡辺市長は、会場内に飾られた良城小ホテル委員会と地域の活動紹介パネルにも目を向けられ、吉敷ならではの活動に関心を持たれたようでした!



避難所が開設されました

大型の台風10号の接近に伴い、交流センターでは、6日(日)13時から避難所を開設し、自主避難者の受け入れを行いました。

テレビでも連日取り上げられ、過去最大級、特別警報級の台風と伝えられる中、交流センターには、13世帯23名の方が避難されました。

台風は、7日(月)6時ごろ山口市を通過しましたが、幸い大きな被害もなく安堵したところです。今後も台風等に備え、早めの避難を心がけましょう。



お父さんパワーアップしました

9月13日(日)、「お父さんパワーアップ講座」を音楽楽が開催しました。

おひとり保育園から講師を招き、昔ながらの手遊びや絵本の読み聞かせ、人気のWAKU積み木、ビー玉転がしなど、父と子が楽しく触れ合える親子遊びを体験。お父さん同士のトークタイムも充実した時間になったようです。



トピックス

市ソフトボール協会主催大会で「吉敷クラブa」が優勝

去る7月12日(日)、リフレッシュパークで開催された山口市ソフトボール協会会長旗争奪大会で、吉敷クラブaが見事優勝の栄冠を勝ち取りました。

若手軍団が躍動

準決勝、決勝ともに大差で勝利。aの若手軍団が暴れまくって圧倒した大会となりました。チームはここ数年、吉敷少年野球の卒団生が中心となり、市内でも強豪の仲間入り。

現在指揮を執っている末田一志監督代行によると、チームでの世代を超えた交流をきっかけに地域活動へ参画する若い選手もあり、地区名を冠するクラブとして、その使命も果たしていると安堵しているとのこと。「これからもクラブの偉大な先輩方に習い、様々な地域づくりの場面でも貢献していけたら」と話されました。

当日のオーダー

① ショート	越智勇也(22歳上東)
② サード	野村直己(26歳下東)
③ ライト	福本晴斗(20歳宇部)
④ 指名打者	重村将統(26歳佐畑)
⑤ レフト	小野晴輝(21歳下東)
⑥ ファースト	吉賀祥速(19歳宇部)
⑦ セカンド	寺戸一貴(20歳宇部)
⑧ センター	末田亨也(20歳佐畑)
⑨ キャッチャー	山根聖成(20歳上東)
ピッチャー	水廣郁義(50歳中村)
監督代行	末田一志(54歳佐畑)
コーチ	松田貴紀(51歳佐畑)

チームの歴史

吉敷クラブaは、昭和55年に吉敷の野球好きが集結して立ち上げた「吉敷クラブ」(初代会長・末田種彦、監督・藤井保行、選手19名)という地域のソフトボールチームが原点です。地域行事やボランティアにも積極的に参加しており、環境美化のため吉敷川の畔や天神山への桜の植樹も行いました。現在は春になると見事な桜並木になり、地域の皆さんの憩いの場にもなっているようです。

地域とともに長い歴史の中で紆余曲折しながら、吉敷のスポーツクラブの創始として、また原点として、長い伝統を引き継ぎながら今日も活躍しています。



優勝した「吉敷クラブa」のメンバー

吉敷地区食生活改善推進員監修

健康レシピ

2「カラフルピラフ」

10月は味覚の秋・食欲の秋ですね。おいしい旬の食材がいっぱい！新米と聞くと飛びつきたくなりますね。

旬の食材の一つにきのこ類があります。「香り松茸、味しめじ」と言われ、食物繊維が豊富で低カロリー。旨みの素グアニル酸が多く含まれています。

きのこの保存は洗わずにビニール袋に入れます。旨み成分が増えると言われる冷凍保存もおすすめ。「レンコン・人参・さつまいも・里芋」等も冷凍により旨味を増す旬の野菜です。



材料

【4人分】

■ 米	2合
■ 酒	大さじ1
■ ツナ缶	1缶
■ ミックスベジタブル	100g
■ しめじ	50g
■ 固形コンソメ	1個

作り方

① 炊飯器に洗った米を入れ、酒とツナ缶の汁を入れる。水を炊飯器の目盛まで入れて調整する。

② ツナと凍ったままのミックスベジタブル、砕いたコンソメを入れて炊く。

1人分:エネルギー341kcal たんぱく質8.5g 塩分相当量0.9g

★お好きな具材、味付けでバリエーションUP!

ウインナー、ベーコン、カレー粉、ケチャップなど

※缶詰やドライパック、冷凍野菜、冷蔵庫の野菜を活用し、時短のピラフを!

これ一品で栄養バランスOK! おにぎりにして子どものおやつにも

リレーエッセイ

Relay Essay

005

はらだ ひろゆき
原田 弘之さん(上東)



先日、私のゴルフ仲間である先輩が、見事70歳にして「エージシュート」を達成されました。

エージシュートとは、ゴルフの1ラウンド(通常パー72)を、自分の年齢以下の打数でホールアウトすることで、簡単に達成できるものではありません。たとえば50歳の方は、1ラウンド50打、22アンダーで回らなければなりません(絶対無理です)。しかし、70歳の方は、70打、2アンダーで回ればよく、元気であれば、年齢を重ねるほど達成の可能性は大きくなり、ゴルフを続ける励みにもなります。エージシュートに限らず、ゴルフは、年配者が若者と同じ土俵で勝負することができ、若者に勝つこともできる数少ないスポーツではないでしょうか。

加えて、懐かしく思い出されるのは、一昔前までは職場等でのコンペがよく開催されていました。こうしたコンペでは、上司と部下(先輩と後輩)が一緒にラウ

ンド・食事する中で、日常ではできない人間関係を築くこともできました。こうしたコンペが少なくなっているのは、残念なことですが。

我が吉敷地区には、おそらく日本一県庁(街の中心地)に近いと思われる立派なゴルフ場があります。ゴルフを続けておられる方、また、今はちょっとゴルフを中断しておられる方も、健康に気をつけて、いつまでもゴルフを楽しんでいただければと思います。私も昨年還暦を越えましたが、これからもできるだけ長く続け、エージシュート達成の夢をかなえてみたいものです。





1 木	●町内会長会 18:30～	
2 金		
3 土		
4 日		
5 月	●あいさつの日	
6 火		
7 水		
8 木		
9 金	●広報委員会 17:00～	
10 土		
11 日		
12 月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～	
13 火		
14 水	●河川浄化委員会講習会 13:30～14:30 P.2	
15 木		
16 金		
17 土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00	
18 日	●吉敷ベタンク交流大会 8:30 P.2	

19 月		
20 火		
21 水	●レノファ山口 VS 徳島ヴォルティス 19:00～(みらスタ)	
22 木	●肺がん(結核)検診 9:00～15:00 P.2	
23 金		
24 土		
25 日	●レノファ山口 VS 水戸ホーリーホック 15:00～(みらスタ)	
26 月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00	
27 火		
28 水		
29 木		
30 金	●子育て講座「運動会」 10:00～11:00 P.2	
31 土		

11月のおもなイベント

2 月	あいさつの日
4 水	健康チェック・健康相談会 P.2
8 日	吉敷ふるさとまつり P.3
18 水	育児相談

「令和2年8月15日」



暑い、ぶち暑い。早朝から蝉は大会唱。ベットの猫2匹は顔に爪を立て早くエアコン入れると催促してくる。まったく、私より快適な暮らしをしている。

今日は終戦75年。2年前に、平生町回天記念館と周南市大津島人間魚雷「回天」の訓練基地に行つて、10代で出征して犠牲になった若者への冥福を青い海に向かい黙祷し、敷地内にある鐘を突いて帰りました。その場に居たら、二度と帰ることのできない戦場へ、日本の為に志願したのだろうか？

これまでは、食料は豊富にあり好きな食べ物を選択され、平和な暮らしに安堵していた。しかし一変、新型コロナウイルス・異常気象による災害にいままで見たことのない風景、人はマスクをし身内でさえ一定の距離を保ち生活している。アウトドア派で自由奔放な自分がおとなしく自粛している。

先日、古くからの友人が亡くなったとの連絡が入ったが、葬儀さえ参列出来なかった。命を守る行動をとって下さいの報道で、最近身体の変調があると即病院に行き最後は神頼み。お願いもう少し・・・

先の見えない世の中で一刻も速く収束し、また笑顔で楽しい人生を過ごしたいと考えさせられる、一日でした！

広報委員 田中公吉

〔発行・編集〕

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

